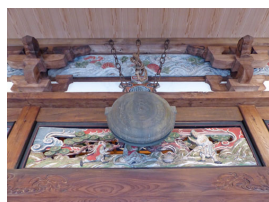
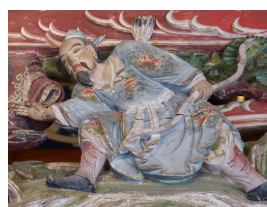
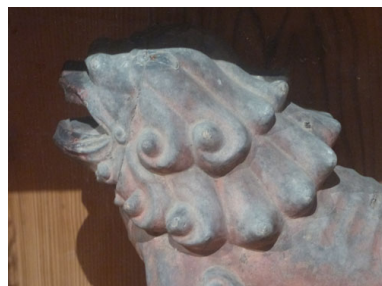
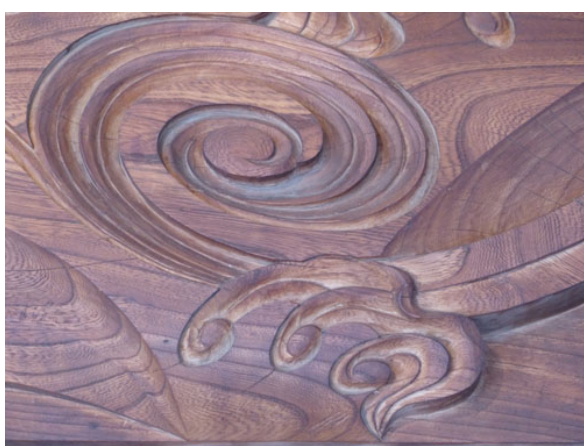


3369 群馬県渋川市：榛名湖や伊香保温泉

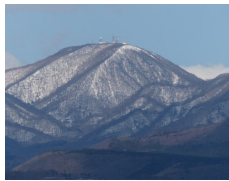
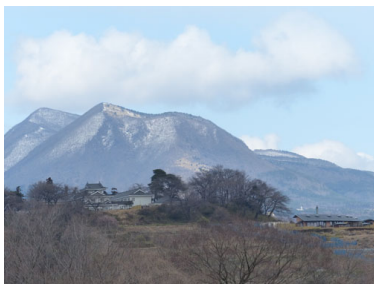
「平安京から京都へ」京都書院の本が手元にある。

平安京の誕生、平安京の風景、最澄と空海、桓武天皇、王朝のインテリアとファッション、物語文学、平安京の色と街、根強い日本住宅の伝統。木と緑の文化。



幼少の頃、我が家でもお寺さんの月参り、祖母や親父さんとの会話
背後^{うしろ}に座って見ていたものである。三つ子の魂、百まで忘れず。なんとも懐かしく感じる。
その後の波乱を、なんとか乗り切れているのは、そのおかげではないか。
「お寺さん」は、心の安らぎを得、心のよりどころとして存在。

自分のことばかり優先し、あくせくし、必要のない苦しみや悲しみに
振り回される。どのように生きればいいのか、どのように時間を使えばいいのか。
それを考える場所。心や志を形にしたのがお寺。心が落ち着き、静かで爽やかな気持ちになる。
早朝からお昼過ぎまで、ご縁が有難い。貴重な時間をもらった。



これまでも、欧州に行かれた「声明」の録音をいただいたことがある。
以前、真光寺を訪ねたのは、4月8日お釈迦様の日。平成の大修理に着手される前だった。
榛名湖や伊香保、この地域は、時を変えて何度も訪ねて取材。

ママチャリでの、京都から東京まで、往路は中山道 69 次、帰路は東海道 53 次。
高崎市は中山道の宿場町。群馬県庁の展望室も訪ねた。利根川？
いい思い出は心の財産。彼は用事があって外出。奥さんが出前を。至福の時間だった。

春の気配も濃厚。服装の準備がない。山の方は雪深い。草津温泉方面へ進路を。
長野原までは列車。スキーバスが、折りたたみ自転車も OK ということで、草津温泉まで。
温泉は人で混雑。湯畑や湯もみを取材して次の上田市へ。軽はずみだった。
自転車がパンク。列車もバスもない。遭難と背中合わせ。鳥居峠を歩いて… 夜通し。